



いづまち  
議会だより

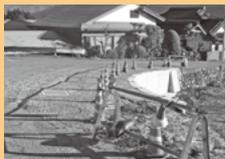
第76号 平成29年1月15日

発行：長野県飯島町議会

P3

あれどうなった  
本郷駅前拡幅工事

ひとこと広場  
議員研修報告



P4

井戸端会議  
ありのままの自分で暮らせる町だ

町のいいとこ、悪いとこに活発な意見。  
でも自分でいられる町。

P5~6

12月定例会 補正審議  
安全安心の補正予算



P7

総務産業委員会 補正予算審査  
町民の声を念入りに審査



P8

総務産業委員会 現場調査  
上水道配水管布設工事  
道路改良工事視察



P10

社会文教委員会 補正予算審査  
キッズ防災拠点の  
備品準備



P10

社会文教委員会 視察研修  
住民が支える高齢者介護



P22

町民の声を議会へ 700年余の時を経て

歴史が取り持つ  
新たな交流



# 町政を問う

ここが聞きたい

## 11 議員が質問

竹沢 秀幸

5 駅開業 100年

鳥羽・斑鳩お座敷列車を… P11



久保島 巖

新町発足60周年

評価と課題は …………… P12



本多 昇

定住促進

住みたい住宅環境整備を… P13



滝本登喜子

食育計画

医食同源の取り組みを … P14



橋場 みどり

防災行政

台風の経験を生かせるか… P15



中村 明美

地域ぐるみの子育て

町内外にPRを…………… P16



折山 誠

同一労働同一賃金

非正規職員の処遇改善を… P17



堀内 克美

未登記公有地

職員の嘱託登記で解消を… P18



浜田 稔

予算審議

3ヶ年予算を12月から … P19



坂本 紀子

強い地震

死亡防止の取り組みを …… P20



三浦寿美子

介護保険 16年

軽度者に専門家の支援を… P21



「一般質問」とは  
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

表紙の写真／新春花火

追跡

# あれ どうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情

その後のゆくえ

平成21年7月要望 本郷区長

**問** JR本郷駅改修で駅前道路が狭くなった。  
拡幅を求める。

**答** 計画に沿って実施する。

その後

平成28年11月着工、3月に完成予定。



広くて安全に!

## ひとこと広場

飯島町発足60周年イベント  
にぎやかでとても楽しかったです。

議会だよりには町の問題点や課題  
が参考になりました。

町内にスーパーストアを建設して  
いた方がいいと思います。

「町発足60周年記念誌」  
配布ありがとうございました、  
懐かしく読んでいただきました。  
益々発展を祈ります。――  
飯島町の

もう少し飯島町にも商業施設を増やしてほしい。

### 県地方自治政策課題研修

長野県庁講堂

### 地方創生 先進事例に学ぶ 11/10

長野経済研究所の小澤吉則氏と、総務省ふるさと財団地域再生マネージャーの小島慶藏氏の講演から、地方創生の在り方を学びました。

小島氏は、海外まで展開した地方自治体活性化成功事例の数々を紹介しました。

### 上伊那市町村議員研修

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

### 困った時はお互い様 11/7

「JICAのネパール支援」と題した駒ヶ根青年海外訓練所長 清水勉氏の講演と「ネパール・ポカラ市との友好親善の取り組みについて」駒ヶ根市職員吉沢啓太郎氏の報告で、国際協力の意義を学びました。

## ありのままの自分で暮らせる町だ

議会主催の住民懇談会を、文化館中ホールで、昼・夜の2回に分けて開催しました。

14人の住民が参加し、活発な意見交換ができました。

### 主な意見

- ・飯島町だけが移住相談後、毎月新しい物件情報を送ってくれた。
- ・自然に囲まれた飯島はとても贅沢だ。
- ・新規事業は「新しく建てます・つくります」という事業ばかり目につく。
- ・町民の提案を検討するシステムが必要。
- ・生きる術として自給自足を見直し、子どもに伝えるときがきている。
- ・営業部専門部会に出席したが参加職員がほとんどいない。
- ・自立を選択し、これからは町を売り出していくことが大切。
- ・かつては、文化祭・運動会・地域に一体感があった。大事な物がなくなっていく気がする。町のよいところは残したい。
- ・陣馬形山の眺望の良さに感激。ロープウェイがあればよい。
- ・町が整然としていたと思ったが、広小路だけだった。
- ・飯島駅もいいなと思う。周囲の景観を整え好印象に。
- ・七久保地区の学童保育は「つまらない」との声がある。
- ・保育園児の迎えの時間が厳しい。
- ・保育料は1人4万円が、2人で4万円に負担軽減されている。このPRが不足しているのでは。
- ・前住所地の病児保育はとてもよかった。
- ・ファミリーサポート事業は、利用者がまだ少ない。仕組みの説明が必要では。
- ・飯島町をどうしたいかトータルなバランスで方向付けを。
- ・有る物を残す“地域残し”協力隊を。
- ・木曾に通じる林道整備を。
- ・温泉と宿泊施設で観光資源に。
- ・身の丈にあった整備が大切。
- ・飯島町にしかないことに力を注ぐべき。
- ・「東京スカイツリーよりも高い飯島町」をキャッチフレーズに。
- ・飯島町の古跡が分かりやすい観光パンフレットに。
- ・新町長は、できる事・できない事の姿勢が明確で良い。
- ・自分自身をありのままに出せる。
- ・文化的な企画が少ない。文化行政が貧困では。
- ・滞在型観光客受け入れの基盤整備が必要では。
- ・七久保の三社合同祭では若者のエネルギーがすごかった。
- ・町一体感のある祭りの旗振りを町営業部で。
- ・大縁会は、地元住民の参加が少なく、見捨てられた気がした。
- ・転入してきたら神社の集金があり不思議に感じた。
- ・4区に溝がある。町が一つになる行事が必要。
- ・議会は条例制定など、立法機能強化に力を注ぐべきでは。
- ・一般質問は、1回の質問で詰められないことは、次回で詰めるべき。



真剣になごやかに ワークショップ

# しっかり貯金しながら 防災や補修をきめ細かに

平成28年12月定例会は、8日から16日までの9日間の会期で開催。町提案の人事案件3件・条例4件は即日同意可決しました。補正予算7件と陳情7件はそれぞれ所管の委員会に審査を付託しました。最終日の本会議で補正予算を可決、陳情7件と議員発議の意見書4件の採決では意見が分かれました。

一般質問には11人が町政をただしました。

## 人事案件

任期満了に伴い、教育委員に松崎充恵氏と鈴木富美氏を任命すること、また、固定資産評価委員に宮下好矢氏を選任することに同意しました。

## 補正予算

### 一般会計総額

53億423万円に

### 主な使い道

- 中央道跨水路橋 960万円
- 石楠花苑火災報知機更新 399万円
- 障がい福祉サービス給付費 2032万円
- キッズ防災拠点用備品 371万円
- 農業用水路改修など 505万円
- 融雪剤 220万円
- 保育サポーター 119万円
- 飯島体育館柔道畳更新 272万円
- ふるさと納税特産品など 1373万円
- ふるさと納税基金積立 2400万円
- インターネット通販開設 86万円
- 会計課IT再構築など 457万円
- 職員給料手当など ▲2431万円



本郷地区 原井用水

- 後期高齢者会計繰出金 ▲1918万円
- 介護保険会計繰出金 ▲300万円
- 予備費 ▲236万円

### 主な補正財源

- 国から**
- 障がい児自立支援交付金など 1016万円
- 県から**
- 障がい児自立支援交付金など 508万円
- 農地改善事業補助金 300万円
- 負担金・寄付金・諸収入**
- 防災減災地元負担金（原井用水） 1050万円
- 社協負担金 199万円
- ふるさといいじま応援寄付金 2400万円

### 繰入金

- 公共施設等整備基金 ▲2000万円

### 町債

- 公共事業等債 1150万円
- 一般補助施設等整備事業債 160万円

### 国民健康保険

総額 11億8111万円に

### 後期高齢者医療

総額 1億2471万円に

### 介護保険

総額 10億7245万円に

### 公共下水道

総額 4億425万円に

### 農業集落排水

総額 2億9708万円に

### 水道事業

総額 3億7441万円に

## 条例改正

内 容	結 果
特別職給与条例の一部改正	可決 賛成11 - 反対0
一般職給与・勤務時間・休暇等条例の一部改正	可決 賛成11 - 反対0
税条例の一部改正	可決 賛成11 - 反対0
国民健康保険税条例の一部改正	可決 賛成11 - 反対0

## 陳情の本会議審議結果

内 容	付託	結果（賛否討論は付託委員会に類似）
給付型奨学金制度の創設を	社文	採 択 賛成11 - 反対0
免税軽油制度の継続を求める	社文	採 択 賛成11 - 反対0
誰もが安心して利用できる介護保険制度の実現を	社文	不採択 賛成 4 - 反対 7
放射性廃棄物を全国に拡散させないように求める	社文	不採択 賛成 4 - 反対 7
農業再生協の運営適正化を	総務	趣旨採択 賛成11 - 反対0
南スーダンPKOからの撤退を	総務	不採択 賛成 3 - 反対 8
憲法審査会の審議中止を	総務	不採択 賛成 3 - 反対 8

## 意見書

内 容	結 果
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める	可決 賛成11 - 反対0
国会議員選挙における地方代表の確保を求める	可決 賛成 8 - 反対 3
給付型奨学金の創設等の拡充を求める	可決 賛成11 - 反対0
軽油引取税の課税免除措置の継続を求める	可決 賛成11 - 反対0

第4回  
臨時会  
10/24

## 安全安心の補正予算 橋の点検・長寿命化、道路改良など

平成28年第4回臨時会が開催されました。

補正予算案件1件、石楠花苑工事請負契約1件を審議し、いずれも全員一致で可決しました。



周辺整備を待つ石楠花苑診療所

### 平成28年度

#### 一般会計補正予算（4号）

総額52億5135万円に

#### 主な使い道

- 橋りょう点検（23橋）長寿命化（6橋） 2500万円
- 北街道縦3号線改良 2470万円
- 石楠花苑診療所備品・駐車場 1021万円

#### 主な補正財源

##### 国から

- 社会資本整備補助金 2946万円

##### 自主財源

- 繰入金 3000万円
- 地方債 960万円

# 町民の声を念入りに審査

## 補正予算審査

平成28年度一般会計補正予算(第5号)・3特別会計の分割付託分を審査し、全員一致で可決すべきものと決定しました。

## 一般会計質疑

**問** JR飯田線跨水路橋は見送った。その分、原井用水路の修復は増工になるか。

**答** 増工になる。

**問** 毎年増額補正の町長交際費は、当初から計上したらどうか。

**答** こここそ押さえるべき経費だ。足りなくなったら増額補正する。

**問** 林道整備事業の工事請負費が減額し、補償費に変わっているがどうということか。

**答** 工事の前段階で電柱移転が必要となり、補償費に回した。

**問** 情報機器管理費のOCR(文字読み取り装置)の内容は。

**答** 会計課で使うシステムで、上伊那広域での契約が平成29年で切れる。それに伴いシステムの再構築が必要になった。

## 意見

**賛成** 維持補修が中心で妥当なものである。

## 特別会計質疑

### 農業集落排水事業

**問** 修理費が増加した要因は

**答** 思った以上に処理施設の傷みがひどかったため。

**問** 汚泥を肥料化しているが、放射能汚染はないか。

**答** 原発事故当時は町で検査をしていたが、今は駒ヶ根のクリーンピアで検査をしている。町の汚泥汚染は無い。

高い柔軟性と伸縮性のある耐震管路です

## 平成28年度 事業現場調査

12/14

### ◇上水道配水管布設工事

北河原耕地 町道福知線  
石綿管を、「エスロハイパー」に取り換えます。



### ◇道路改良工事

町道本郷幹線 本郷駅前拡幅工事

線路をまたぐ電柱移転工事の後再開し、3月には完成予定です。

## ◇道路改良工事

町道上島線

高遠原駅南道路の路肩を垂直擁壁で改良し、道路幅を広く確保しました。



初の試み！ブロック積み垂直擁壁です

## ◇伊南バイパス

4号橋中田切PC上部工事の進捗状況を視察しました。



## 総務陳情審査

### ◇農業再生協の運営適正化を

提出者：認定農業者 中村澄雄氏

趣旨採択 賛成4 反対0

◆内容 飯島町農業再生協議会運営の適正化及び巨額な税外負担の廃止を求める。

意見

**賛成** 再生協が転作や永年作物への転換に果たしてきた役割は評価する。全否定に近い陳情者の主張には認められない部分がある。一方で水田農家だけが拠出金を負担している仕組みには疑問がある。

また再生協運営費における拠出金割合は大きく、支出目的内容からは、全農家の負担、あるいは水田農家の負担軽減など改善の余地はある。

平成30年から、米の生産調整に再生協の果たす役割は益々大きくなる。再生協と町は、今まで以上に公平性・透明化に努める必要がある。

陳情の趣旨を「再生協運営の適正化と拠出金の見直し」と理解し、趣旨採択が適当とした。

◇南スーダンPKOからの撤退を

提出者：「平和って何だ伊那谷」

代表 角 憲和氏

不採択 賛成2 反対3

◆内容 「駆けつけ警護」付与の閣議決定を撤回し、南スーダンPKOからの撤退を求める。

意見

【反対】 憲法違反ではなく、派遣されている同盟国とともに任務を遂行すべきだ。日本だけ撤退するわけにはいかない。

【賛成】 南スーダン政府軍との衝突があり、自衛官の命を脅かす恐れがある。また、紛争地域への派遣は許されない。

◇憲法審査会の審議中止を

提出者：「平和って何だ伊那谷」

代表 角 憲和氏

不採択 賛成2 反対3

◆内容 憲法審査会による具体的条項の審査は中止し、憲法改正の是非は主権者である国民の議論へ差し戻すことを求める。

意見

【反対】 自民党は草案を憲法審査会のたたき台にしないと明言しているから、撤回を求められるものではない。互いの案を示して議論を深めるべきだ。

【賛成】 自民党は草案を国民に説明せず、選挙で改正を訴えてもいない。草案は基本的人権をないがしろにし、家族制度・地方自治への関与など、明治憲法への回帰だ。

社文陳情審査

◇給付型奨学金制度の創設を

提出者：「連合上伊那」議長

日比野誠氏

採択 賛成5 反対0

◆内容 無利子奨学金の拡充と教育の機会均等の確保を。

【賛成】 2017年度は低所得世帯から、2018年度より本格実施に向け国も制度設計に入った。

◇免税軽油制度の継続を

提出者：「伊那リゾート」代表

白澤裕次氏

採択 賛成5 反対0

◆内容 平成30年3月で廃止される制度の継続を。

【賛成】 観光産業や農業で活用されており、時限立法であるが継続すべき。

◇誰もが安心して利用できる介護保険制度の実現を

提出者：「上伊那医療生協飯島」

支部長 天田良子氏

不採択 賛成2 反対3

◆内容 介護保険制度の生活援助などサービス削減や利用料の引上げを実施しないこと。

【反対】 介護制度は発足して16年が経ち、10兆円規模に増えた。利用者が応分の負担をしなければ、将来に負債を残す。

【賛成】 社会保障は国の責任で国民の人権・暮らしを守る重要な

分野である。要介護1・2が2割負担になるのが心配だ。介護環境を停滞させるべきでない。

◇放射性廃棄物を全国に拡散させないよう求める

提出者：「放射能拡散のない環境を守るネットワーク」代表

柳井真結子氏

不採択 賛成2 反対3

◆内容 福島原発事故を受け、放射能汚染廃棄物・汚染土の持ち込み反対の議会決議・全国拡散防止と国責任で集中処理を。

【反対】 放射能物質汚染対処措置法は8000ベクレル/kg以下が基準で、従来の100ベクレル/kgとは対象物が違う。

汚染土の公共事業利用は、県が実証実験の結果を受けて検討。宮田産廃問題とは別。

【賛成】 福島原発の放射性廃棄物は従来基準の80倍だ。8000ベクレルの安全性の説明も納得できない。未来に向けて拡散しないようすべき。

# キッズ防災拠点の備品準備

平成28年度飯島町一般会計補正予算（第5号）の分割付託分と3特別会計の補正予算を審査し、全員一致で可決すべきものと決定しました。

## 質 疑

**問** キッズ防災拠点施設の、おぶいひも・冷蔵庫・洗濯機の用途は。

**答** おぶいひもは避難時使用。冷蔵庫は保護者持参の子ども用食べ物の保存。洗濯機は通常施設で使うものを洗う。

**問** 備品金額が高いのでは。

**答** 入札し金額を抑えたい。



建設工事が進む「キッズ防災拠点施設」

## 社会文教委員会視察研修

### 住民が支える高齢者介護

11/16~17

介護保険総合事業で、給付額と保険料共に減少するという成果をあげている御代田町を、16日に視察しました。

特徴的な取り組みは、NPO法人が「住民主体によるサービ

ス事業」として「はつらつ介護予防教室」を、毎月2時間町内4会場で開催。今年度からは「外出支援」にも取り組んでいます。

活動を支えるサポーターは、

会員登録をした有償ボランティア住民で、養成講座を開催し育成しています。

当町では、社会福祉協議会の新たな事業としての展開が期待されます。

17日には、群馬県の公立富岡総合病院で、佐藤尚文院長のお話を伺いました。『栄養外来を開設し食事指導をすれば、医療費の1/4を削減できる（健康寿命の延伸）』。

また、家族や医療チームと相談を繰り返しながら治療や療養、最期のありかたの方針を決めていく「事前医療ケア計画」など、新たな医療の方向（患者本位の医療）を学ぶことができました。



笑い声と熱気あふれる教室

5駅開業  
100年

鳥羽・斑鳩 お座敷列車を

飯田線特別列車を検討 町長



竹沢 秀幸

**問** 飯島駅など町内5駅が旧伊那電鉄として開業し、平成30年に100周年を迎える。

記念事業として、鳥羽市と斑鳩町まで行けるお座敷列車運行を提案する。

**町長** 記念事業として、町民相互の交流・自治体間での交流を深めるのは良いことだが、お座敷列車は難しい。

飯島駅開設100周年は伊那県庁150周年にもあたる。記念イベントとして、飯田線に貸し切り特別列車運行の旅を検討する。

**問** 3つの記念行事を提案する。①5駅の往復切符を発行し、ふるさと探訪。②100周年で写真展。③七久保駅「咲-Sakai-」と田切駅「究極超人あ〜る」のアニメ駅聖地を活用したイベント。

**総務課長** ①記念切符は、企画書を作成しJRと協議し採択されれば発行できる。

②写真展は、町の駅を活用しての展示を検討する。

③アニメ駅の聖地として、フォトコンテストをはじめ記念イベントを開催し、知名度・来客アップを図ればと考える。

**問** JR飯田線活性化期成同盟会と協働して、リニアに連結する「スーパーあずさ」の単車車両走行の実現を求める。

**町長** 「スーパーあずさ」の乗り入れを契機に、この地域の発展の可能性も十分あると思う。期成同盟会とともに要望活動を一生懸命やっていきたい。

**問** スピードアップも大切。一方、ローカル線の旅の魅力の醸

成も必要だが。

**町長** オメガカーブは、カメラマンの列が続く。飯島町の地域資源である飯田線とその風景はブランド化し得るコンテンツ。

飯島町営業部で外に向けて売っていきたい。

「町民の日」制定を

**問** 新町発足の9月30日を、町民の日とする条例制定を提案。合併してからの歴史を学び、また未来を見据え、町民の心を一つにする機会としては。

**町長** 町民の心の盛り上がりを見計らって、何らかの節目に合わせて制定を検討していくことがふさわしいと考える。

夜間の交通事故なくそう

**問** 交通事故防止のため、車の夜間走行時はハイビーム・ロービームの適切な運転と、歩行者夜間反射材の着用普及推進を。

**町長** 運転者はハイビームを基本にする意識改革が必要。

交通事故防止には、まず身を守るためにぜひ反射材の着用を。

他に長野県が「こどもの医療費窓口無料化」に転換すること。国保制度県移管の財政措置を国に求めること。を質しました。

〔以上4件質問〕

「究極超人あ〜る」聖地 田切駅



「-咲Sakai-」の舞台 小学生が清掃する七久保駅



久保島 巖

## 新町発足 60周年

### 評価と課題は

### 狙い通りになった 町長

**問** 新町発足60周年事業の大まかなところは終了した。総費用1000万円の価値を問われる場面がある。全体を通じた評価と課題は。

**町長** 歴史を振り返り、先人への感謝を表すとともに、町の魅力を掘り起し発信できる事業。町民の一体感を醸成し、未来に向けて元気が出る事業。それらを基本に町民で実施できた。

いろいろ批判もあるが、将来に向けて一つにまとまらなければならない、という町民意識が沸きだした。これを狙っていた。

**問** 大博覧会の観客5800人は多くない。予算規模から12000人は集めないと成功とは言えないと思うが。

**町長** 何人集めたかが問題ではない。更なる大きなイベント・外に誇れるイベントへとつながることを期待する。

**問** 金をかけたからには、明確な効果や結果がほしい。次年度に向けて何に取り組むのか。

**町長** 具体的な内容は検討課題だ。町民が集い元気になれる空間づくりや、町の資源をブランド化し、発信する町民主体のイベントも望まれる。

町主導ではなく、町民の中から湧き出る企画を育て、支援したい。

**問** 抽象的なものでなく、しっかりした出口戦略が必要だ。

**町長** 大いなる田舎の底力を発揮しよう。町民が一丸となり、自分たちで何かできるという思いの行動に期待する。

必要があるのでは。

特に「まちづくりセンターいいじま」「飯島町観光協会」「飯島町営業部」を統合し、伊南DMO（観光地域づくり経営戦略）に対応することを提案する。

**町長** 分かりやすさは信頼と共感・共同へとつながる大切な要素と考える。設立当時の役割と社会情勢変化の中で、名称も含め整理統合を検討する。

**産業振興課長** 3組織のすみ分けはできている。ただし「まちづくりセンターいいじま」は消費税増税までに組織を見直す。

### 奥出雲町と姉妹都市に

**問** 島根県奥出雲町から11月に町長を交えた訪問団が来町した。奥出雲町は飯島氏と縁の深い三沢城みざわのある町だ。奥出雲町の皆さんは当町との縁を大切にしていることが分かった。

一気に姉妹都市としては。

**町長** 奥出雲町と当町との縁は

西暦1221年までさかのぼるが、判明したのは最近である。町内でも歴史に関心のある人以外には広まっていない。全国の友好姉妹都市では問題を抱えている例もあり、行政と住民との認知度に差

があると有名無実になる。この点も留意し交流を重ね、互いの町民意識が高まる中で、提携に向かうのが良いと考える。

〔以上3件質問〕



大博覧会の一コマ

### 組織の見直しを

**問** 町には同じような名前や業務の重複が見られる。整理する

定住促進

住みたい住宅環境整備を

重点的に進める 町長



本多 昇

**問** 定住に向けた住宅対策は、どこを強化しているのか。

**町長** 住宅建設資金利子補給金事業を柱としている。

**問** 上通り住宅へ行く町道芝宮線は、工事中断で危険な状態だ。工事の再開は。

**町長** 重要な幹線道路で緊急度が高い。社会資本整備総合交付金事業を活用したい。

実施中の補助事業の進捗を見ながら再開を検討する。

**問** 空き家の活用や除却などの空き家対策総合支援事業がある。活用の考えは。

**町長** 空き家対策特別措置法に基づく協議会を設置する必要がある。しかし協議会は設けないことになっているので、支援事業の活用は出来ない。

**問** ICT利活用にWi-Fiスポット設置などを検討したか。

**産業振興課長** 観光施設としてのニーズの高まりなどがあれば、適切な判断をする。

誘致企業はセキュリティーの面からWi-Fiより光回線網を希望している。

**問** 千人塚公園から与田切溪谷周遊コースと千人塚公園キャンプ場および周辺の整備は。

**町長** 観光は町の新産業として

非常に大事。観光グランドデザイン作成の中で、着実に観光産業を育てていきたい。

**問** 緊急防災・減災事業債活用事業で採択されなかった公共トイレ改修事業は、単独でも実施すべきだ。

**教育長** 重要性があることは認識している。財政的な裏付けを得ながら順次実施していきたい。

若者・子育て世代の住宅対策事業を

**問** 快適な住まいづくりにより定住人口の増加促進を図るため、マイホーム応援事業を。

住宅の新築や中古住宅購入費用に助成し、建設促進・未活用住宅の流動化を提案する。

**町長** マイホームを購入された人との公平性や、町の財政状況を考えると導入は困難だ。

**問** 賃貸住宅建設に助成措置を講じ、優良な低家賃の賃貸住宅の建設を促進し、定住人口の増加を図る。

賃貸住宅建設促進事業を提案する。

**町長** 民間アパートの入居状況や既存民間アパートとの公平性など、分析検討が必要。

自然エネルギー推進事業補助金見直しを

**問** 太陽光発電設置。「住宅」の屋根は大いに推進すべきだ。恵まれた自然と景観を破壊する「野建て」への補助金は廃止すべきだ。

**町長** 制度内容の見直しは必要と考えている。

発電施設設置の実態や状況を見定めながら、研究検討をしていく。

〔以上3件質問〕



工事中の太陽光発電



滝本 登喜子

## 食育計画

### 食育ネットワーク会議で 医食同源の取り組みを

**問** 食育推進計画の取り組み状況と今後の具体的施策は。医食同源の考えから、健康寿命を延ばす取り組みは。

**町長** 第1期計画では特に子どもの食育活動の土台作りに取り組んできた。今年度は食育ネットワーク会議を開催し、次期計画を策定する予定である。

**健康福祉課長** 健康づくり計画でも、食事・栄養・食習慣などに取り組む事としている。また、妊婦には食事指導や調理実習、高齢者には栄養指導、各種団体への出前講座も継続する。

**問** 学校給食で、子ども自らが食事を考え実践できる「弁当の日」を提案するが。

**教育長** 両小学校では栄養教諭と一緒に給食を食べながら指導をしている。また生産者と交流給食をして地産地消に取り組んでいる。「弁当の日」は学校や保護者に意見を聞き検討したい。

### まちづくりセンター

**問** 決算が黒字の場合町へ返還しているが、センターの運営費や職員の待遇改善に充てては。

**産業振興課長** 委託事業は町へ精算し、自主事業は運営費に充当が可能だ。職員の処遇改善は法人として決定できる。

### 女性の就労支援を

**問** 子育てしながら働くことへの支援・環境整備の取り組みは。

**教育長** 子育てママ相談事業や勉強会・講演会を開催して情報提供をしている。県の「子育て応援企業」にも参加を呼びかけ支援を求める。

**産業振興課長** 就職希望の人には学習会・研修会の活用を勧めている。国・県には雇用関係の助成金制度がある。多くの事業所に制度の利用を働きかける。

**問** 役場の各課が、子育てママ相談事業や情報提供を行っているが相互の情報共有は。

**町長** 就労支援は関係部署の連携を図りながら進める。高度な連携の方法を精査していきたい。

### 空き家を交流施設に

**問** 都市と農村、移住者と町民との交流に空き家の活用を。

**町長** 空き家情報は少なく、相続や維持管理の問題もあり、有効活用できない現状だ。これらの課題が解決されれば、交流施設としての活用も検討する。

**問** 道の駅本郷・農産加工室・アグリネチャーなどを体験交流施設として活用しては。

**町長** 管理団体などと連携し、有効活用を図りたい。

### 田切の里移動購買車

**問** 現状は。

**産業振興課長** 利用者から意見が寄せられている。公会所などに、高齢者が集まる事業に合わせて購買車が出向くよう、販売内容や場所の再検討を進める。

〔以上5件質問〕



手なれた包丁さばき！

## 防災行政

## 台風の経験を生かせるか

## 空振り恐れず避難指示 町長



橋場 みどり

**問** 台風16号では避難準備情報・避難所開設をしたが、町長の所見は。

**町長** 当町にとって初めて。判断の難しさ・町民の命を守る使命の重さを痛感。空振りを恐れず避難指示を出していく。十分検証し防災減災につなげる。

**問** 避難準備情報から避難所開設までの経緯説明を。

**総務課長** 風雨の強まりを予測し「注意喚起」を発令した。土砂災害・河川からの浸水が予想される地域を対象とした。そこで指定緊急避難所（集会所）ではなく、地区公民館に決定し、各区長に開設準備を依頼した。今回は、今後の予想がつきやすく、地域限定でもあり情報伝達や開設準備が比較的スムーズに行えた。

**問** 避難施設の耐震強度は。

**総務課長** 公民館は全て耐震工事を完了。指定避難所も耐震指標で危険性が「低い」との診断結果であり、安全に開設できるような体制を整えている。

**問** 避難所収容人数の算出方法は。福祉避難所の収容人数無記入の理由は。

**総務課長** 1人当たり、屋内施設は4㎡を、屋外は2㎡を基準として算出した。石楠花苑は防

災計画見直しの際に収容人数を110人とした。

**問** 避難所運営組織と自主防災組織の関係は。

**総務課長** 指定緊急避難所（耕地・自治会集会所）は、自主防災会が開設・運営。指定避難所の開設運営は区の自主防災組織と町が協力。

**問** 有事に行政業務を継続するための計画作成を急ぐべきでは。

**総務課長** 地域防災計画の大規模見直しの時期に合わせ、できるだけ早く策定するよう検討。

**問** 区から耕地総代・自治会長への防災無線と、避難所の間仕切り壁配備の要望があるが。

**総務課長** 通信手段の確保は、経費面・運用面の両方から検討。間仕切り壁は、自主防災組織施

設整備事業補助金の有効活用で必要数量確保に努めたい。

**問** 防災にも男女共同参画の視点を加えるべきでは。

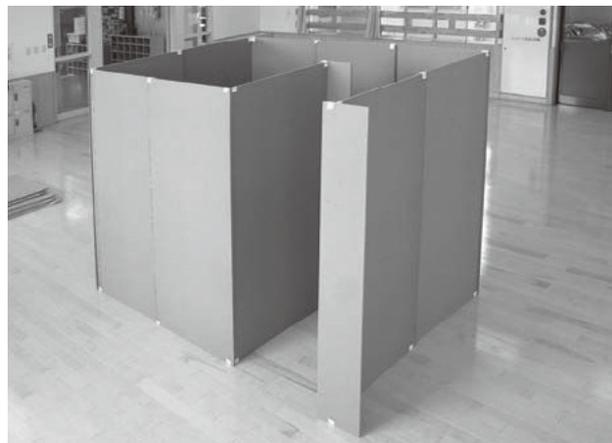
**教育長** 国の指針を参考に男女共同参画推進懇話会で話し合っていく。

**問** 防災の啓発・地域防災力強化にボランティア活動も必要だ。住民協働をすすめ支援を。

**総務課長** 地域・団体・個人の力がどうしても必要。防災士の「取得支援補助制度」を創設し、防災アドバイザーを育成する。

NPOなど組織立ち上げには「協働のまちづくり補助制度」など資金面で支援する。町・防災リーダー・NPOなどと連携し推進していきたい。

〔以上1件質問〕



プライバシー保護の間仕切り壁



中村 明美

## 地域ぐるみの子育て

情報発信を進めたい  
町長

町内外にPRを

**問** 新事業の地域未来塾・土曜塾の学習内容と、受講生の様子や学校職員・ボランティア・保護者の反応は。

**教育長** 飯島未来塾は7月から中学校で行っている。毎週水曜の午後3時半からと、土曜の午後1時から数学と英語の個別学習を支援している。特設講座は2カ月に1回程度開催し、塾生以外も募っている。これまでのテーマは、進路講座・青年海外協力隊の活動報告など。

受講生徒数は、発足時26人で現在は33人登録している。サポーターは、高校の非常勤講師

や元教師、大学生や高校生、あるいは地域の人など。現在15人がシフトを組んで指導している。教職員は『生徒の学習理解が深まっている』、サポーターは『生徒の関係が改善されている』と評価。力をつけ塾をやめた塾生もいた。家庭からは『普段家で勉強しないので助かる・無料で嬉しい・継続してほしい』というような意見があった。

教育委員会では、学びの多様性を保証していくため、来年度以降も継続したい。

**問** 地域ぐるみ子育てには、このような教育支援の実態をもっと住民に発信すべきだと住民に発信すべきだと。また定住促進事業でも飯島ならではの子育て支援をPRしていくことを提案するがどうか。

**教育長** 飯島未来塾は広報でサポーターの募集をした。特設講座は一部の新聞に掲載した。中学生と保護者にはチラシを配布し、役場ホームページにも掲載した。

**町長** 田舎での子育てを考えている世代にとって非常に魅力的なことであり、定住促進でも情報発信等を進めていく。

## 生き心地のよい環境への計画づくりを

**問** 自殺は国民的リスクとなっている。県では、2015年404人で交通事故死の5倍以上となっており、自殺対策は急務だ。

国では、2017年に、先駆的に取り組む自治体を募集。2018年以降は全自治体が自殺対策計画を策定。計画には財源も必要で、交付金を活用し次年度から計画策定を求める。

**町長** 新しい健康づくり計画には自殺対策を盛り込み策定する。29年度は、かねてからの課題「引きこもり支援員」を配置し、取り組みを強化する。引きこもりも自殺の要因となっており、メンタルヘルスの対応など含め仕組みづくりが大事と考える。

また、まちづくりと同じく、人間の団結、心の通い合い、きずなを育てることが大事に思う。

他に文化館大ホールの渡り廊下側にひさし設置と内部修繕を提案した。

〔以上4件質問〕



地域未来塾の様子

同一労働  
同一賃金

# 非正規職員の処遇改善を

## 新年度改定したい 町長



折山 誠

**問** ここ数年、役場臨時嘱託など非正規職員の数が急増していないか。

**総務課長** 7年前と比較して臨時職員は倍増し、正規職員は減少しているが、職員数全体は増加している。非正規の職種別割合は一般事務の2割、保健師・栄養士の4割、福祉・介護職員の6割、保育士の6割、給食調理員は全員という状況。

**問** 当町では、計画的な職員減で2億円の人件費を削減した。

一方で、町民ニーズは社会的な背景をもとに多様化し、増え続ける行政需要に対応するため、常勤雇用の非正規職員を増やしている。

仕事の内容も、正規職員の穴埋め的に高度なスキルを求め、一方で処遇は、低賃金低報酬のままだ。処遇の実態は。

**副町長** 職務の実態から、正規職員との処遇格差が大きいことを認識している。

**問** 年々高いスキルを求められ、精神的な負担や責任も正規職員並みになっている。同一労働同一賃金に向けて大幅な改善が必要だが。

**町長** 新年度から賃上げなど処遇改善の第一歩に踏み込む。

### 医療介護行政の新たな展開を求める。

**問** 診療報酬の課題はあるが、栄養外来開設の取り組みを求める。

栄養管理で医療費1/4削減効果があると言われており、その財源で医療機関を支援しては。

**健康福祉課長** 効果はその通りだが、医療機関の理解を得難く、行政的な取り組みで対応する。

**問** 延命治療のあり方と、増え続ける医療費が社会問題化されている。近年、患者本人の意思に沿った治療を施すACP（事前医療ケア計画）は、終末期医療に患者の意思が尊重されるもの。新たな医療の方向性を今から町内に普及すべきでは。

**町長** 医療の今後の大切な方向性として認識している。

**問** 社協は福祉ボランティアの拠点となっている。来年度からの介護総合事業で連携した予防事業の展開を求める。御代田町は、この取り組みで介護費や保険料の減額効果が生じている。

**町長** 要支援者に対する住民主導の介護予防は大切であり、社協と連携して取り組む。

### いじま大縁会さらなる発展を

**問** 先の大博覧会では、多くの移住者がスタッフとして活躍していた。活性化を支えるこの皆さんから、地元住民との交流を促したいが、大縁会出席者が少なく悲しいとの声があった。参加増の呼びかけを。

**町長** 移住者と地元住民の交流を目的とした大縁会は、大切な事業であり工夫していきたい。

〔以上3件質問〕



多くの移住者が下支え



堀内 克美

## 未登記 公有地

### 地籍調査の進捗で検討 町長

### 職員の嘱託登記で解消を

**問** 町民や不在地主からの不動産の寄付状況は。

**町長** 近年、所有者の高齢化・不在地主などにより、年間20～25件の申し出がある。約半数を受けている。

**問** 権利関係の整理が出来ていない不動産への対応は。

**建設水道課長** 相続登記や権利関係を整備したものを受け付けている。

**問** 聖徳寺北の丘陵地帯には、昭和初期に公園計画があったが頓挫した。現在は、山田織太郎

氏の記念碑と孔子像が建立されているのみだ。観光資源として有望な寄付の申出ではあるが、分筆が必要なため町は受けていない。町の対応は。

**副町長** このような案件は、観光計画や農業公園構想などで個別に対応していく。

**問** 町公共的土地の未登記状況は。

**建設水道課長** 総数で395件、そのうち登記困難なもの190件、登記可能なもの205件である。

**問** 年間の登記件数、1件当たりの経費は。

**建設水道課長** 外部委託で行っており処理件数は年間5件、費用は1件当たり30～40万円くらいである。

**問** 地籍調査の進捗状況と完了見込は。

**建設水道課長** 平成38年に完了する計画であるが、国の補助金が少なくなっているためずれ込む可能性もある。進捗率は平成27年度で52.7%。

**問** 今の状況では、処理できる

件数の未登記解消に40年かかる。年を経過すると処理困難になる件数が増加する。地籍調査完了も遅れることから、職員による嘱託登記で迅速な未登記解消を提案する。

**副町長** 地籍調査の遅れが見込まれる中、事業の進捗状況を踏まえ体制を検討する。

## 戦後遺産の収集を

**問** 合併60周年を機に戦後の文化財の調査収集を。

**教育長** 昭和の民俗資料は家電製品・農機具など、町を語る貴重品である。収納場所を確保して収集を考える。

**問** 陣嶺館など満杯で受け入れを断っていると聞く。資料館の建設と収集を進め「つなごう未来へ」昭和の歴史の引継ぎを。

**教育長** 既存施設に収納スペースを確保し、人材も確保した段階で収集整理を進める。

**町長** 飯島町の歴史の証。順番を踏んで保護に取り組む。

〔以上2件質問〕



山田織太郎翁石碑と孔子像

予算審議

3ヶ年予算を12月から

実施を研究したい 町長



浜田 稔

**問** 町の当初予算は3月議会に上程される。しかし開会直前に配布された案を、単年度だけ審議するのでは不十分だと思う。そこで

- 1) 3ヶ年ローリングで策定される実施計画を。
- 2) 12月議会開催前に配布する。以上提案するが。

**町長** 町では毎年9月から3ヶ年の計画を策定し12月中旬にまとめ上げる。国・県の動向をつかみながら重要性・緊急度・財政状況の検討を繰り返す。

より早く公表する有効性は理解できるが、事務量や日程面で厳しい。

**問** 予算は町民とのキャッチボールの中で策定されるべきものだ。今議会での一般質問でも防災・医療・町おこしなど切実な要望が討論された。議会と行政が3ヶ年予算計画に基づき意見交換していれば、より噛み合った議論になる。

その方が実現性を踏まえた討論になり、結果的に事務量も減るのではないかと。

**町長** 風通しの良い行政改革と議会改革の観点からも必要性は理解できる。実施を研究したい。

**問** 実施計画に併せて目的別・性質別の分類も要望する。過去15年の推移を調べて見ると、

例えば小泉政権の三位一体改革を境に農林費や人件費が下降し始めている一方、扶助費の増加も見て取れる。新自由主義が地方に及んだ姿だ。

対前年度だけでなく、大きなトレンドの中で国政に振り回されない視点が求められる。

当初予算とその後の補正額も過去に遡って調べた。以前は補正額が数億円だったが、最近補正の回数と金額が増えているのではないかと。

本来、当初予算に「ひも」の付かない地方交付税をきちんと保証するよう、政府に求めるべきではないかと。

**町長** 平成26年度は補正9回で7億円余、平成27年度は補正10回で6億円余。小出しで対応に追われているのは事実だ。議会からも意見書を上げてほしい。

**問** 来年度予算の具体的重点事業を示してほしい。

**町長** インターネット販売促進やアウトドア構想の具現化・道路改良やインフラ資産の長寿命化・石楠花苑の整備で医療体制の充実・6次産業に観光を含めた10次産業化などである。

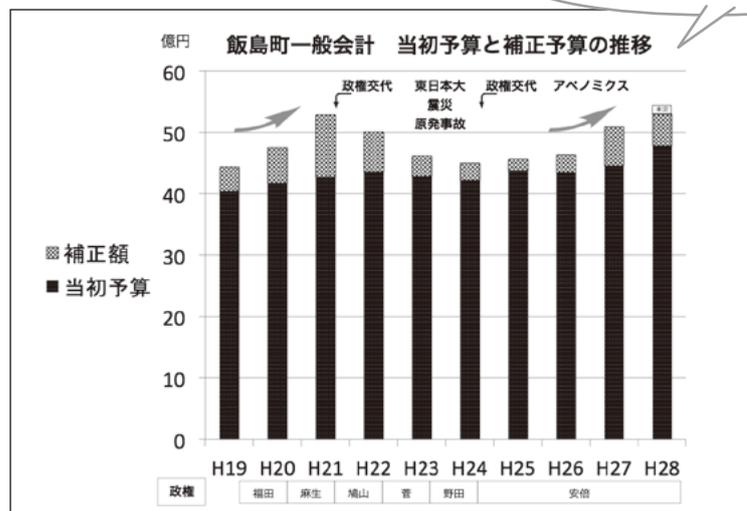
町内の産廃不法投棄  
その後の対応は

**問** 6月議会で指摘した豊岡地籍の産廃は、撤去が進んでいないのではないかと。担当課の人的強化や、期限を切った取り組みを求めるが。

**町長** 県が事業者・施主に面談し、指示書を交付して指導している。撤去費用が捻出できず、また施主は療養中とのことだ。引き続き県と連携して対応する。

〔以上2件質問〕

国政に左右されない自治を



過去10年の推移



坂本 紀子

## 強い地震

### 住宅の耐震化目標90% 町長

### 死亡防止の取り組みを

**問** 熊本の地震では断層上の被害が大きい。古い家や重い瓦の家は潰れていた。現在、死者50人・関連死76人で高齢者が多い。

耐震化の取り組みと進捗状況は。(一般住宅・民間アパート・企業)

**町長** 平成20年に耐震改修促進計画を作成し、平成28年3月に一部を変更した。

**建設水道課長** 所有者の意識と自助努力の上に支援策がある。昭和56年以前の本造戸建住宅は、申請すれば耐震診断が無料。耐震不足なら60万円を限度と

する補強工事費の1/2の助成をしている。

平成17年から実施の簡易・精密診断で508件・耐震補強の助成11件。住宅・アパートの総数3991戸の耐震化率68.5%。企業は耐震改修促進計画の対象外。

平成32年度の耐震化目標を90%とし、PR・個別相談会の開催など努めている。

**問** 耐震化の必要な住宅が町内にどう点在しているか。

**建設水道課長** 飯島地区563戸・田切地区168戸・本郷地区146戸・七久保地区380戸。

**問** 地図上に落とし地区で認識すべきでは。耐震工事は高額なので補助増額を求める。

**建設水道課長** 補助額の拡大は県に要請し、検討する。

**問** 夜の地震対策と啓発を。

**総務課長** 寝室のみの耐震化は低額であり、屋内シェルターも有効だ。「寝室に家具類を置かない・家具の固定や戸棚が開かない工夫・停電時の自動点灯ライト・ガラス飛散防止対策・防寒対策・枕元へ履物を」など減災の知識を広めたい。

今年の調査では、家具類の固定が27%だった。固定金具や防災用品の斡旋を検討する。耕

地・自治会に専門家を派遣して防災講座を行い、早期に意識を高めたい。

**問** 建物が崩壊した際、救出に車のジャッキが有効だが現状は。

**総務課長** 消防団の救護隊は訓練をしている。各自主防災会で油圧ジャッキを備えたところもある。今後、ジャッキを使った訓練など防災研修会で提案する。

## 元気な高齢者の 互助システム構築を

**問** 高齢者の現状と課題は。

**町長** 65歳以上は3311人。うち介護認定者は525人で6人に1人。耕地・自治会単位の「いちいの会」に交付金を出し、町の行事・講演会に参加など様々な取り組みをしている。

認知症の人が増えており、初期集中チーム設置を進めている。

**問** 元気な高齢者が総合事業を行う際、支援活動をポイントに置き換えて、使ったり貯めたりする互助システムの構築を提案するが。

**健康福祉課長** 地域ケア会議で総合事業を含めた中での生活支援を考えていきたい。ポイント制は、その後の課題としたい。

〔以上2件質問〕



熊本地震

介護保険  
16年

軽度者に専門家の支援を

国へ働きかける 町長



三浦 寿美子

**問** 介護保険制度が始まってから16年が経つ。

介護の社会化が進み、家族介護のあり方や、介護に対する社会的な認識も大きく変わった。

町として16年の実績をどう評価しているか。

**町長** H12年4月、当初の高齢化率は24.6%、要介護認定者332人、年間の介護給付費は約4億円であった。

現在の高齢化率は34.1%、認定者数530人、H28年度の給付費は予算額9億9000万円である。

H18年度から予防事業重視となり、地域包括支援センターを中心に強化を図ってきた。

H23年の改正では医療と介護の連携、認知症対策の強化、地域介護、高齢者の権利擁護の推進が求められた。

H27年改正で地域支援事業の推進、住み慣れた地域での支え合いが求められている。介護事業所も充実し、様々なサービスが受けられる体制が整っている。

それらも利用しつつ人と人との繋がりを大切にされた地域の支え合いづくり、生活支援の充実を図っている。

制度前とは社会認識、施設、環境に雲泥の差を感じる。

**問** 要支援者に専門家が関わることで重度化を防いできたとの

認識は。

**健康福祉課長** 町や各事業所はリハビリなど専門職を増し、介護予防事業に取り組んできた。

**問** 介護保険が始まった時に2025年問題は想定されていた。小泉政権から自然増への国庫負担を抑制しているが、必要なところには社会保障として対応する制度の構築が必要。

当町では、要支援1・2の訪問介護・通所介護の利用者が非常に多く、要支援1の訪問リハビリも多い。

軽度のうちに専門家の支援を受ければ、現状の維持や改善にも繋がり、自立生活が可能に。

歩けないと言われた人が、今は杖をついて歩いている。本人の意欲と努力、根気よく支える専門的な支援があったからだ。

当町の介護環境を守ることになると思うが。

**健康福祉課長** 介護保険料は当初の2.5倍。改正によって補助金や介護保険料は上がる傾向。地域で支えることもしないと、介護保険事業が持たないところまできている。

要支援1・2を総合事業でも引き続きカバーしていく。

**問** 町民の将来のために改正前の制度に戻すよう、全国町村会などの機会に声をあげるべきだ。

**町長** その場その場で、状況を報告し国へ支援をお願いする。

グラウンドのトイレ  
早急に改修を

**問** 町民グラウンドのトイレは、災害時の避難場所としても一刻も早く改修が必要。補助金が出なければ町単独事業で実施すべきだが。

**副町長** H30年を予定しているが、予算の編成の中で再検討したい。



本郷グラウンドは仮設トイレ

**問** 本郷グラウンドは仮設トイレであり、水回りが破損し大変不衛生な状況である。トイレの設置義務はどこにあるか。

**教育長** 基本的には、町が設置すべきもの。できるだけ早めに対応したい。

〔以上2件質問〕

# 町民の声を 議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力をお願いし、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は飯島氏顕彰会会長 小池昌史こいけ しょうしさんに登場していただきます。

## 700年余の時を経て

飯島氏顕彰会は、飯島町に800年以上続く飯島家29代当主で、歴史研究に心血を注ぐ飯島ひろし紘さんの支援を柱に、約20名の会員で構成されています。飯島氏や町の歴史を学び、近郷の飯島氏にかかわる史跡の見学、地域の皆さんへの歴史講演会や所蔵品の公開展示会等の活動を行っています。

豪族飯島氏の発祥は、平安時代末期（1185年頃）今の中

川村片桐の片切次郎太夫為綱が飯島に来て飯島氏と名乗ったのが始まりです。

この為綱の嫡男飯島太郎為光は承久の乱（1221年の鎌倉幕府執権北条氏と後鳥羽上皇との戦い）に北条氏に属して勝利した手柄の褒美として、島根県奥出雲の三沢みざわ郷を貰い受け、飯島氏の分かれの飯島為長が出雲に赴き三沢氏を名乗ったのが縁のはじまりです。

それから700年余の時を経て今から10年程前、飯島から600km余離れた島根県奥出雲町で280年余にわたり栄えた「三沢氏」の祖が、信州の「飯島氏」であることが飯島紘さん等の古文書研究によってあきらかとなりました。

以来、歴史愛好会同志の交流は悠久の歴史が取り持つ縁として、飯島町と奥出雲町の友好交流へと発展してきました。顕彰会として嬉しく思うとともに、奥出雲町とのつながりを町内の皆様に伝えていくことが大切と思っています。

### 町と議会に望むこと

貴重な飯島氏所蔵資料の、末永い保存と展示する施設の確保が、喫緊の課題です。

町としての総合的な歴史資料館の設置を検討いただきたいと思っています。



歴史を語る飯島紘さん

### 議会だより

### クイズ

#### 問題

奥出雲町との縁は〇〇〇年

#### ヒントなし

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は2/28、発表は発送をもって代えさせていただきます)



#### 応募要領

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ  
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町  
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

### 編集後記

町60周年を祝う事業も一段落、12月議会では、下平町長の次年度予算編成につながる多くのテーマが議論されました。

発行責任者 議長 松下寿雄  
編集委員 ◎浜田 ○橋場  
本多・滝本・折山・竹沢